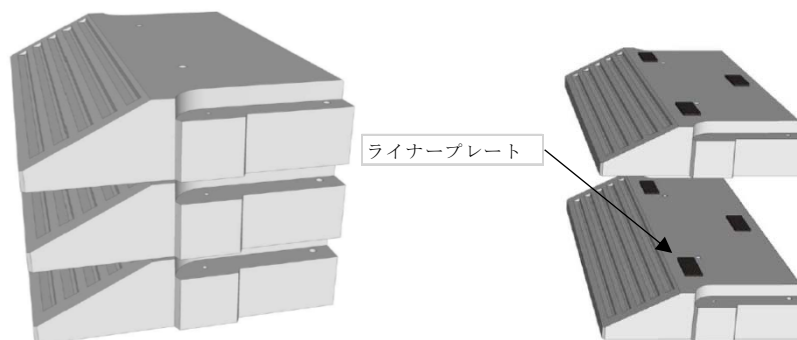


堤防法肩ブロック施工要領

株式会社 総合開発

1. 搬入

搬入は3段～4段を標準として
納入します。
各段に140×70×10mm各3枚
ライナープレートを緩衝材として
敷設し出荷します。



2. ブロック据付

ワンタッチインサートを使用し
ブロックを設置します。
(NV20×50TS×2個使用)

斜め吊り対応治具取付方法

治具を入れて押し込み右に廻して手を放す。

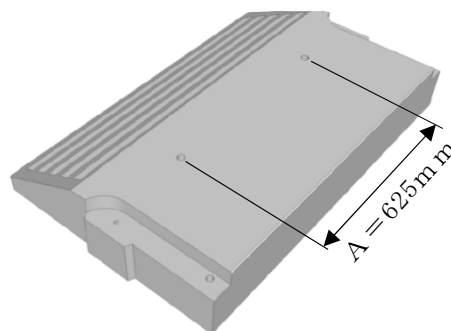
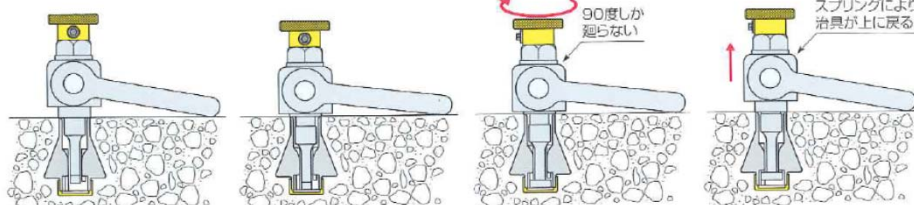
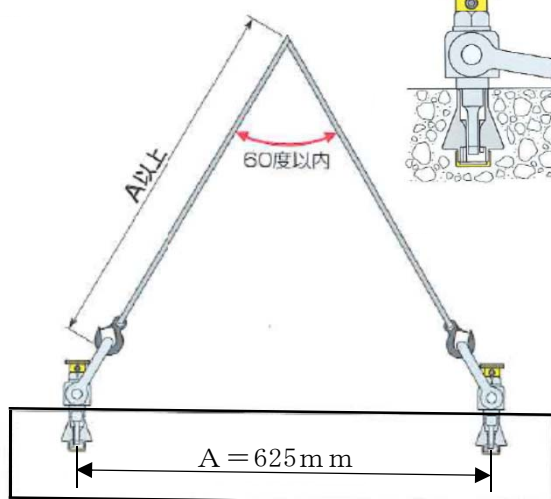
① → ② → ③ → ④

① 治具を奥まで入れる

② 治具を押し込む

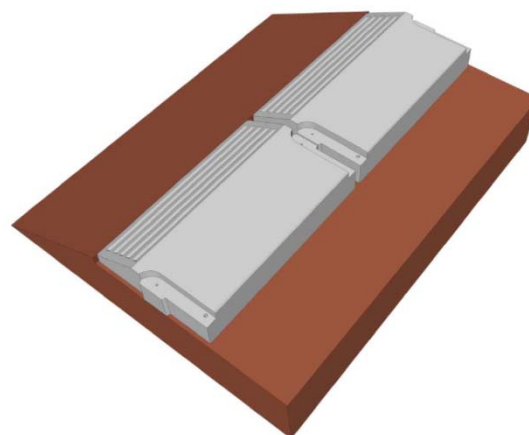
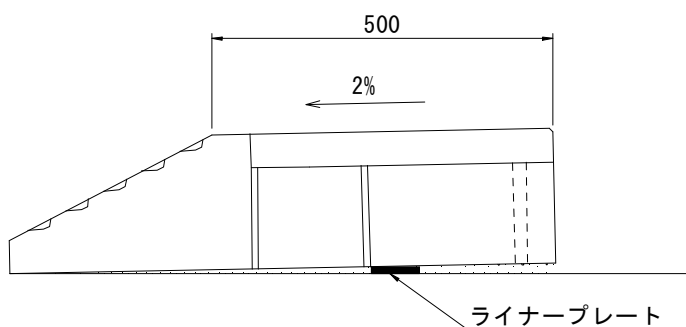
③ 治具を押し込んだまま右へ90度廻す

④ 治具を放す 取付完了



3. 横断勾配

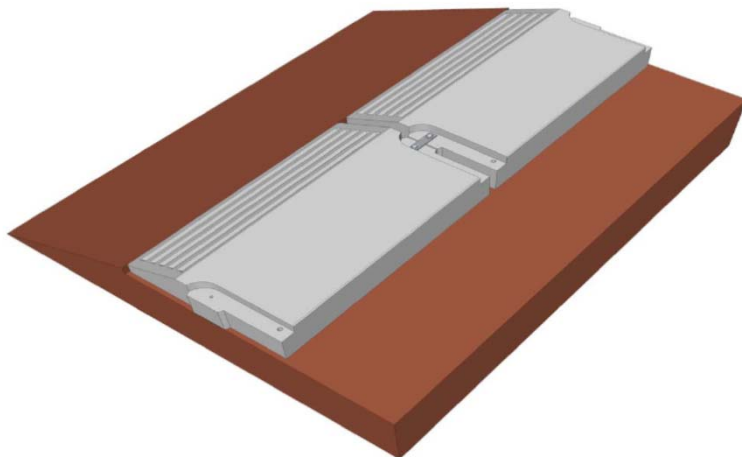
縦断勾配を付ける場合は、納入時に緩衝材として
使用しているライナープレート140×70×10mm
を使用し、縦断勾配を調整し施工します。



※設置後インサートキャップを取り付けます。

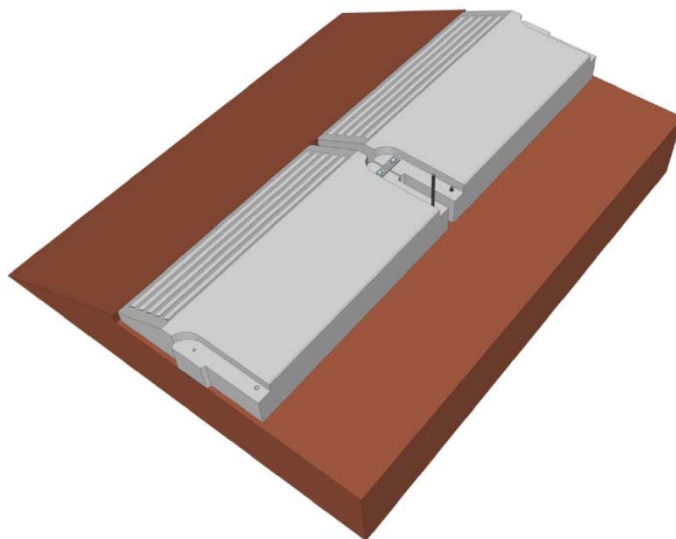
2. 連結金具設置

M12ボルトで製品同士をプレート連結します。

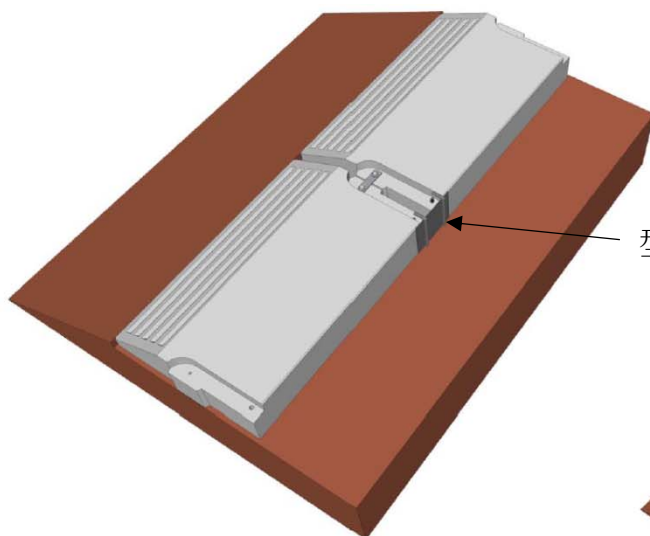


3. アンカーピン設置

路盤工および舗装工時の移動が考えられる場合、D13程度、L 400mm程度の鉄筋を打ち込むことで施工時の移動を抑えることができます。

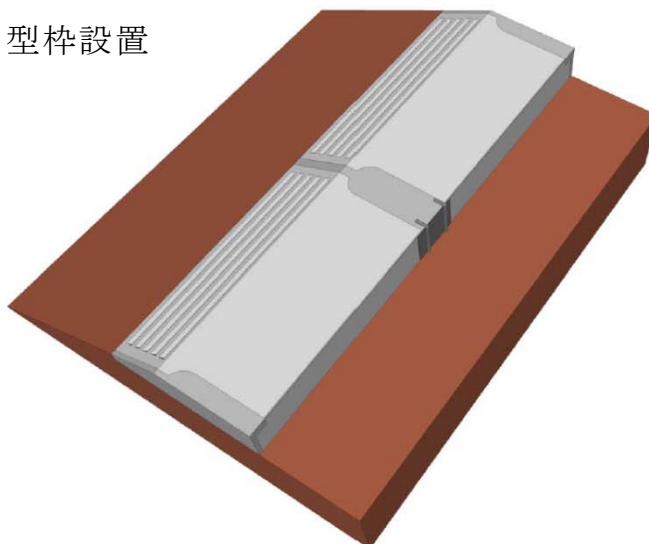


4. 型枠を設置し、止水コンクリートを打設する。



型枠設置

止水コンクリート打設
マスキングテープ等を使用することで
作業性が向上し、製品の汚れも抑える
事ができます。

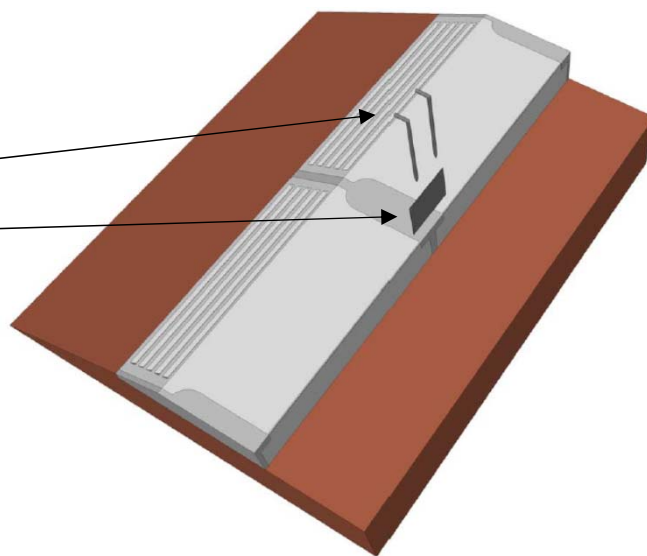


5. 養生後専用抜き型枠取り外し

型枠脱型

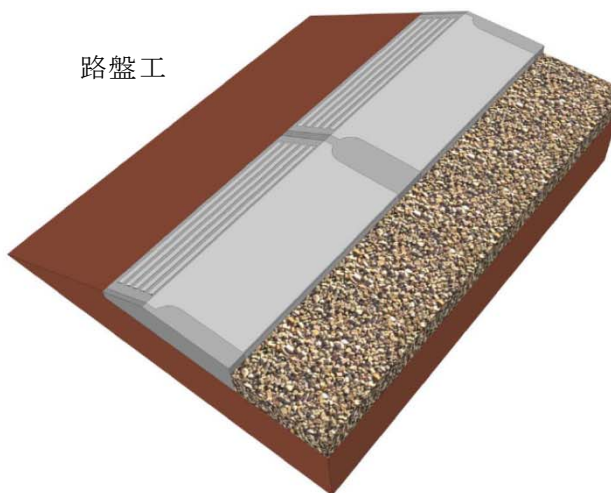
アンカー $\phi 13$ 、 $L=40$ c m

ステンレス板 20×25 c m

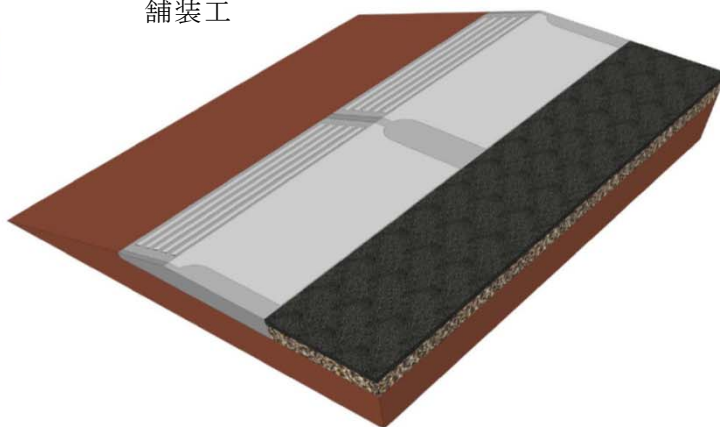


6. 路盤材・舗装工を施工する。

路盤工



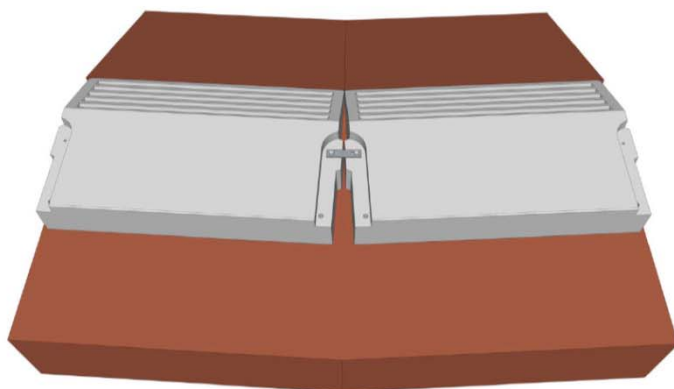
舗装工



7. 曲線対応について

内R=11m、外R=9mまで対応可能です。

内R



外R

